

広見短歌会

濡れ縁に陽の射しくるは十時過ぎ猫と背中を丸めて待てり 佐々木登美子
 春雨が降るたびごとにふくらみて香りまじかに梅咲きそむる 兵田トミ子
 若き日の老いの計画消え失せどさだめに委ね明るく生きむ 高田 治子
 あまえてはならぬ背後に凜と立つ庭の木立に愚痴吐いてみる 武田 幸子
 庭先の松に椿に雪積める今朝鶯の篋鳴ききこゆ 山本まつゑ
 値上りのガソリンにあへぐ民を無視何故に急ぎぬ他国へは給油 松崎 静香
 亡き母と想い出深き鷹の子温泉それさへ今は閉店となる 橋本 加代
 明日もまた気温下るか一人寝の窓を叩きて木枯し荒ぶ 渡辺キヨ子
 送り来しひ孫の写真七十枚無邪気な笑顔泣き顔寝顔 蛭谷 寿子
 寒い日のつぎきて灯油節約し早寝してより春を待ちつつ 伊手リツエ
 明日あるを信じて灯り消す部屋に闇ふかぶかと犬の遠吠え 須藤ヒサエ
 春も過ぎや々と来ました待ちました孫にも嫁が来ると云うなり 二宮 安恵

鬼北句会

気に入りの雛枕辺に嬰眠る
 ものがたり秘めて古城のかぎろへり
 紋白蝶ややの歩みに合せ舞ふ
 白梅や峡の夜道を明るうす
 春めくや道に小さな靴の跡
 飾りても仕舞ひても雛に語りかけ
 ローカルの物憂き車輪や花曇
 草萌るつかまり立ちの手を放つ
 摘み草の香りを添へし夕餉かな
 満開の花にひかれて試歩の仲ぶ
 老の身に水を引きたる春田かな
 古里一望父母眠る彼岸墓
 語りかけ呼び掛け掛け弔辞花の冷え
 雲飛んでつくし日和となりにけり
 葱坊主自給自足で足る暮し
 やや太めボタンピカピカ入学す

大川 眺春
 毛利 知子
 善家 信景
 善家 三代
 善家 章
 上甲 正志
 上甲 武英
 松本 久江
 今西 英子
 松岡 寛孝
 芝 光恭
 白敷フサ子
 武田 幸子
 二宮千代子
 二宮 友子
 上甲 斗志

Christopher's Story No.19

「Driving in America」

私は車の運転がとても好きで、鬼北町でもよくドライブをしています。

アメリカは日本以上に自動車が必要です。なぜならアメリカには電車や地下鉄といった公共輸送機関がほとんどありません。又、バスを利用して到着時間より遅れてくるが多かったり、住宅街までは行かないなど何かと不便だからです。なによりアメリカ全土はとても広いので、自動車がなければ生活ができません。

アメリカでは16歳から車の運転ができることはみなさんご存知だと思いますが、そのほかにも日本とアメリカでは制度に違いがあります。アメリカには車検のようなものはありません。ですから、アメリカでは今にも壊れそうな古い自動車がたくさん走っています。初めて日本に来た時、新しい自動車ばかりが走っている光景を見てとても驚きました。

日本では排気ガスの規制が全国的に厳しく、環境問題への取り組みが強く見られます。アメリカは州によって規制をしているところはありますが、日本のように統一された基準がないので、ロサンゼルスのような大都市は東京よりも空気がとても汚れています。アメリカも今以上に環境問題を考えて、空気がきれいになれば良いと思います。